



今日は、重要な進路通信です。

中学校3年生の目標に準拠した評価の基準について

◆右にあるように、君たち中学3年生（73期生）の『府全体の評価平均』が「5教科3.53」「4教科3.58」と示された。

この数字は、3年生9月2日に行われたチャレンジテストの結果（殿中の平均点）で上下します。

しかし、殿馬場中学校の平均点を示すことはできません。でも評価の範囲内を算出する方法は、掲載しておきます。

$$\text{殿馬場5教科平均点} \div \text{大阪府5教科平均点} = \text{対府比值}$$

$$\text{この対府比值に3.53を掛け算します。対府比值} \times 3.53 = \text{殿中の評価平均値}$$

この「殿中の評価平均値」 ± 0.3 の範囲で、5教科の先生は君たちの評価を出します。

$$-0.3 \sim \text{「殿中の評価平均値」} \sim +0.3$$

◆この「殿中の評価平均値」も示すことは出来ません。ただ、殿馬場中学校は、この入学者選抜システムになってから『府全体の評価平均』より下がったことはありません。

4教科については、基本的に『府全体の評価平均』 3.58 ± 0.3 の範囲で教科の先生は君たちの評価を定めます。

◆この目標に準拠した評価になってから、美術においては、提出物を出さない、提出してもいい加減、極端にテストが悪い、授業中に注意を受ける、積極的に制作をしない・・・等のことがなければ、基本的に「3」以上が付く感じになっている。

◆以前は、相対評価で、5は7% 4は24% 3は38% 2は24% 1は7% と人数が決まっていたが、目標に準拠した評価では、ストレートに努力が反映される。頑張ってるステキな作品を作り出した生徒には7%（人数）に縛られることなく、5を付けれるのだから。

令和3年度中学3年の目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）の基準について

中学3年の目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）の基準として「府全体の『評価平均』」を以下のとおりとする。

【チャレンジテスト実施5教科の評価平均について】

府全体の「評価平均」=3.53

$$\begin{aligned} \text{※府全体の「評価平均」} \\ = 5 \times 0.23 + 4 \times 0.28 + 3 \times 0.33 + 2 \times 0.11 + 1 \times 0.05 \end{aligned}$$

（参考） 中学2年生時の府全体の「評価分布」（実績）

5	23%
4	28%
3	33%
2	11%
1	5%

【チャレンジテスト実施教科以外の4教科の評価平均について】

府全体の「評価平均」=3.58

$$\begin{aligned} \text{※府全体の「評価平均」} \\ = 5 \times 0.20 + 4 \times 0.33 + 3 \times 0.36 + 2 \times 0.07 + 1 \times 0.04 \end{aligned}$$

（参考） 中学2年生時の府全体の「評価分布」（実績）

5	20%
4	33%
3	36%
2	7%
1	4%

重要です！

◆明日からの懇談会で、懇談会用の個人成績表が渡されると思います。1学期に実施された「諸テストの素点」や「3年生1学期の5段階評価」さらに「1年生・2年生の5段階評価」が記されています。

◆そこで、必ず「1年生2年生時の通知表の5段階評価」と照らし合わせてください。まず、間違っていることはないと思いますが、もし数字が違う場合は、必ず担任まで申し出てください。【7月29日（木）補充授業最終日まで】